

免責事項

この **Internet Explorer 8 準備ツールキット** ("ツールキット") では、Internet Explorer 8 のプレリリース バージョンおよび最終バージョンの使用の準備に役立つ情報、ガイダンス、およびツールを提供します。また、Internet Explorer 8 の既知の問題、および問題が発生した場合の対処方法に関する情報も記載されています。

このツールキットに記載されている情報 (URL 等のインターネット Web サイトに関する情報を含む) は、情報提供のみを目的としており、将来予告なしに変更することがあります。このツールキットに記載されている情報は、このドキュメントの発行時点におけるマイクロソフトの見解を反映したものです。マイクロソフトは市場の変化に対応する必要があるため、このドキュメントの内容に関する責任をマイクロソフトは問われないものとします。また、記載された情報の正確性を保証できません。お客様がこのツールキットを運用した結果の影響については、すべてお客様が負うものとします。また、マイクロソフトは、明示、黙示を問わず、いかなる保証もしません。

マイクロソフトでは、ツールキットに基づいて開発されたいかなる品目の任意の一部が、国を問わずいかなる個人または団体の著作権、特許、トレード シークレット (営業秘密)、その他の知的所有権をも侵害しないことに関し、一切の保証を行いません。このような知的所有権に対するライセンスは、適宜、お客様ご自身の責任において取得してください。マイクロソフトは、ツールキットを利用することに起因または関連する利益損失、事業の妨害、およびその他のいかなる損害についても、責任を負いかねます。派生的損害または付随的損害に対する責任の制限と除外を認めない一部の地域では、上記の制限は適用されないことがあります。

別途記載されていない場合、ツールキットで使用している会社、組織、製品、人物、出来事などの名称は架空のものです。実在する商品名、団体名、個人名などとは一切関係ありません。実在する商品名、団体名、個人名などとは一切関係ありません。お客様ご自身の責任において、適用されるすべての著作権関連法規に従ったご使用を願います。

このツールキットのいかなる部分も、マイクロソフトの書面による許諾を受けることなく、その目的を問わず、どのような形態であっても、複製または譲渡することは禁じられています。ここでいう形態とは、複写や記録など、電子的な、または物理的なすべての手段を含みます。ただしこれは、著作権法上のお客様の権利を制限するものではありません。

マイクロソフトは、このツールキットに記載されている内容に関し、特許、特許申請、商標、著作権、またはその他の無体財産権を有する場合があります。別途マイクロソフトのライセンス契約上に明示の規定のない限り、このツールキットはこれらの特許、商標、著作権、またはその他の無体財産権に関する権利をお客様に許諾するものではありません。

Microsoft、ActiveX、Internet Explorer、MS-DOS、Windows、Windows NT、Window Server、および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国および地域における登録商標または商標です。記載されている会社名、製品名には、各社の商標のものもあります。

目次

[Internet Explorer 8 準備ツールキットについて 4](#_Toc210703301)

[エンド ユーザー向けの機能 5](#_Toc210703302)

[開発者向けの情報 26](#_Toc210703303)

[IT プロフェッショナル向け 28](#_Toc210703305)

[テスト ツール 34](#_Toc210703306)

[Web サイトのデバッグ 34](#_Toc210703307)

[Web サイトの設計と作成 35](#_Toc210703308)

[役に立つリソースへのリンク 35](#_Toc210703309)

[互換性に関連するリンク 36](#_Toc210703310)

[コミュニティ 36](#_Toc210703311)

[Windows Internet Explorer 8 Beta 2 リリース ノート 37](#_Toc210703312)

Internet Explorer 8 準備ツールキットについて

Windows Internet Explorer 8 準備ツールキットへようこそ。Web サイト、およびアプリケーションを Internet Explorer 8 に合わせて最適化する際は、最初にこのツールキットを参照してください。まず、Internet Explorer グループ プログラム マネージャーの Tony Chor から皆様にごあいさつを申し上げます。

「Internet Explorer 8 Beta 2 へようこそ。

このリリースの新機能としては、エンド ユーザーが Web をより便利に使えるようになること、企業と顧客のより効率的な結び付きを実現すること、IT プロフェッショナルが自社の展開をより緊密に管理できること、Web 開発者が大規模サイトを容易に構築できることなどがあります。また、このリリースではプライバシー、信頼性、セキュリティが革新され、これらの新機能の堅固な基盤として提供されます。最後に、今回初めてベータ版を 25 の言語で提供します。私たちは、Internet Explorer が世界中のユーザーに重要であることを確信しております。Internet Explorer 8 Beta 2 で提供されるさまざまな新機能に興味をお持ちいただき、Internet Explorer 8 Beta 2 が皆様のサイトおよびサービスでテストされることを願っております。皆様からのフィードバックをお待ちしております。よろしくお願い申し上げます。」  
  
  
  
Tony Chor   
Internet Explorer   
グループ プログラム マネージャー



エンド ユーザー向けの機能

ここでは、Internet Explorer 8 Beta 2 で提供されるエンド ユーザー向けの機能について説明します。

このページの内容 :

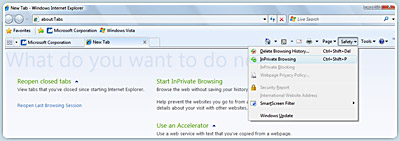
[Beta 2 の新機能 : InPrivate](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/new-features.aspx#inprivate)  
[Beta 2 の新機能 : 閲覧の履歴の削除](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/new-features.aspx#history)  
[検索](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/new-features.aspx#search)  
[Beta 2 の新機能 : 検索候補](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/new-features.aspx#suggestions)  
[Beta 2 の新機能 : ユーザーの基本設定の保護](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/new-features.aspx#preferences)  
[Beta 2 の新機能 : キャレット ブラウズ](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/new-features.aspx#caret)  
[アクセラレータ (旧称 : アクティビティ)](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/new-features.aspx#accelerators)

[Web Slice](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/new-features.aspx#webslice)  
[Beta 2 の新機能 : サイト候補](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/new-features.aspx#suggested)  
[お気に入りバー](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/new-features.aspx#favbar)  
[Beta 2 の新機能 : タブ グループ](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/new-features.aspx#grouping)  
[自動クラッシュ回復機能](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/new-features.aspx#crash)  
[SmartScreen フィルター機能 (旧称 : フィッシング詐欺検出機能)](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/new-features.aspx#filter)

**InPrivate**

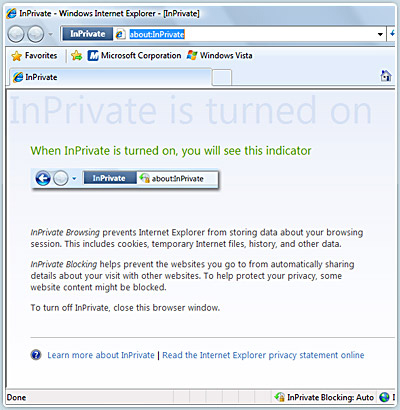
**InPrivate ブラウズ**

友人のコンピューターから電子メールをチェックしたり、家族で共有しているコンピューターで家族のためのプレゼントを内緒で購入したりするためにインターネットを使用する際に、セッションのトレースを残したくないユーザーもいます。Internet Explorer 8 の InPrivate ブラウズ機能は、セッションの履歴、インターネット一時ファイル、フォーム データ、Cookie、ユーザー名、およびパスワードがブラウザーに保存されないようにします。



InPrivate ブラウズは、[新規タブ ページ] または Internet Explorer で新たに導入された [セーフティ] メニューから、[InPrivate ブラウズの開始] を選択して有効にします。この機能を有効にすると、Internet Explorer 8 で起動されるセッションに情報が保持されず、ユーザーのブラウズ アクティビティのトレースが残りません。既定では、InPrivate ブラウズを有効にすると、InPrivate ブロック (これについては、次のセクションで説明します) も有効になります。InPrivate セッションは、ブラウザーのウィンドウを閉じれば終了します。

**InPrivate ブロック**



現在の一般的な Web サイトのコンテンツは、他の多数の Web サイトから各ピースが借用されるモザイクのように構成されています (以下の記述では、ユーザーが最初にアクセスした Web サイトをプライマリ、そのサイトが参照する Web サイトをセカンダリと呼びます)。ブラウザーの設定によっては、ユーザーに通知することなく、セカンダリ Web サイトのコンテンツの取得および表示が行われます。

**注 :** Internet Explorer 8 で Web ページのセカンダリ Web サイトのコンテンツをチェックするには、[セーフティ] メニューの [Web ページのプライバシー ポリシー] をクリックします。

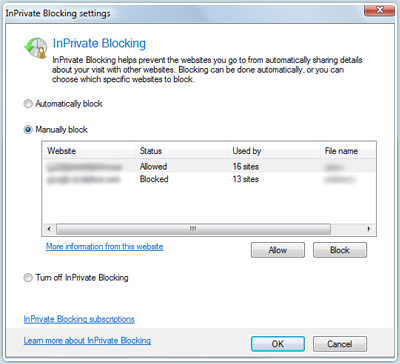
モザイク状の構成というこの Web ページの特質は、インターネットの本質的な性質を表し、価値ある多様な機能を提供します。レストランの Web サイトのインタラクティブな市街図、ニュース記事、ニュースフィード、株式データ、天気予報、広告ページにおける "このリンクを共有" の誘いなどは、インターネットの豊富なコンテンツやサービスのほんの一例にすぎません。このアプローチの利点は非常に大きいものです。たとえば、資金調達コンテンツのビジネス モデルを作成し、それをユーザーに応じて最適化するということから、小規模な Web サイト オペレーターがより多くのコンテンツを配信できるように支援したり、広告の場合は、Web サイト オペレーターが、アクセスする顧客に課金しないようにできる収益ストリームを実現したりできます。

同時に、このような情報収集モードは、プライバシーにも大きな影響を与えます。ブラウザーが Web サイトに対してコンテンツを要求する際は、ユーザーがすべての Cookie をブロックしていても、常に、ユーザーのコンピューターのオペレーティング システム、画面解像度、および IP アドレスに関するデータが公開されます。1 か所のプライマリ Web サイトへのアクセスで公開される情報はわずかのように見えます。しかし、ユーザーが同一のセカンダリ Web サイトのコンテンツを参照する複数のプライマリ Web サイトにアクセスすると、セカンダリ サイトでは、収集されたデータが集約され、ユーザーのブラウズ アクティビティからプロファイルが構築される場合があり、これはユーザーへの通知や同意なしに行われることも珍しくはありません。

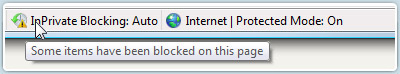
大半のユーザーは、Web サイトによってユーザーのブラウズ アクティビティが追跡されることがあると認識していますが、多くの場合、セカンダリ Web サイトがどの程度の追跡を行うかまでは認識していません。また、ユーザーにもたらすものがほとんどなく、ユーザーのブラウズ アクティビティを追跡することを主目的としているセカンダリ Web サイトも多くあります。代表的な例として、いわゆる Web ビーコンが挙げられます。これは、Web ページ上に表示されないように設計された小型で透過的なイメージとして実装されます。

このモデルには、セキュリティ上のリスクも付随します。Web サイトへのアクセスによって、Web サイト自体だけではなく、そのサイトが参照するセカンダリ Web サイトから潜在的に悪意のあるコンテンツにアクセスする場合があります。ユーザーがその Web サイトを信頼している場合、実際にはユーザーのプライバシーにとって有害な参照先のセカンダリ Web サイトも信頼できると見なす可能性があります。一部の最上層の Web サイトが情報漏洩している場合もあり、この問題の例は簡単に見つかります。

Internet Explorer 8 の InPrivate ブロック機能は、ユーザーのアクティビティの追跡および集約を行う可能性のあるセカンダリ Web サイトへの対処方法としてより広い選択肢を提供し、よりきめ細かく制御できるようにすることによって、これらの問題の解消を支援します。InPrivate を有効にすると、アクセスした複数の Web サイトに表示されるセカンダリ コンテンツのブロックが自動的にオンになります。ユーザーは、この機能を無効にすることも、手動で一部のセカンダリ Web サイトのみのコンテンツを受け入れ他のサイトをブロックすることもできます。この設定は、InPrivate セッションが継続している間は一貫して適用されます。



InPrivate ブロックでは、種類の異なるセカンダリ コンテンツが区別されるわけではありません。アクセスしたすべての Web サイトに表示されるすべてのセカンダリ コンテンツの頻度を監視し、特定のコンテンツがアクセス Web サイトの設定数を超えて表示された場合にのみコンテンツをブロックします。コンテンツがブロックされると、ステータス バーに次のメッセージが表示されます。



InPrivate ブロックでは、セカンダリ コンテンツの種類は識別されませんが、サード パーティによるブラウズ アクティビティの追跡方法に関する選択肢をユーザーに提供します。インターネットで豊富なコンテンツやサービスを使用できるようにするオンライン広告のビジネス モデルには、吸引力がある関連広告の作成に使用されるメトリックの収集および分析が不可欠です。オンライン広告がなければ、コンテンツ所有者は、ユーザーのアクセスに課金するなどの、他の資金調達手段の使用を迫られます。

マイクロソフトは、消費者、広告主、発行元に対する責任があり、インターネット上のコンテンツおよびサービスをサポートする広告の重要性を理解しています。InPrivate ブロックは、広告を阻止することを意図した機能ではありません。消費者、広告主、発行元の間の情報交換の透明性を高めるステップであり、ユーザーがこの情報交換にどのように参加するかをより積極的に制御できるようにすることを目指しています。消費者のニーズと、広告主および発行元のニーズとのバランスをとるには、このような透明性と信頼性が不可欠です。これによって、インターネットの活力を長期にわたって生み出すことができます。

**注 :** InPrivate ブロックは、特定のユーザーがアクセスした複数の Web サイトに高い頻度で表示されるセカンダリ Web サイトのコンテンツの検出とブロックを目的としています。このため、この機能でアクティビティ レベルを判別し、コンテンツをブロックするには、一定の時間が必要です。この時間の長さはアクセスした Web サイトの数と種類によって異なりますが、どのセカンダリ コンテンツをブロックし、どのコンテンツを許容するかはユーザーが調整できます。

詳細については、[InPrivate 購読に関する説明 (英語)](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/developers-new.aspx#inprivate) を参照してください。

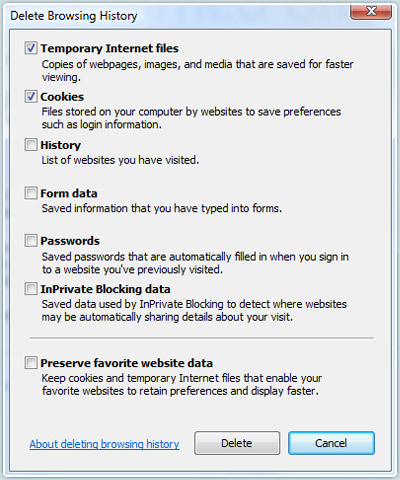
[ページのトップへ](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/new-features.aspx#top)

**閲覧の履歴の削除**

Internet Explorer 7 で導入された[閲覧の履歴の削除](http://blogs.msdn.com/ie/archive/2006/01/12/512232.aspx)機能では、Internet Explorer に保存されたデータを 1 回のクリックで削除できます。Web ブラウズ アクティビティのレコードの削除は、これまで以上に容易になりました。

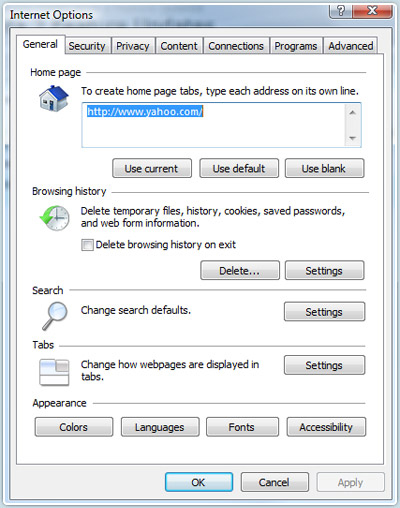
ただし、このレコードの中には削除する必要がないものもあります。アクセス頻度の高い Web サイトについては、Cookie に格納される情報が特に有用です。多くの Web サイトでいわゆる "ユーザー名を記憶する" オプションがありますが、金融関連の Web サイトなどでは、ユーザーがアクセスに使用したすべてのコンピューターに Cookie を保存します。Cookie の用途の 1 つは、パスワードを忘れたときなどに本人を識別するための質問 (例 : "出身高校のマスコットは?") を不要にすることです。

Internet Explorer 8 では、お気に入り一覧に追加した Web サイトからの Cookie およびインターネット一時ファイルをユーザーが保存できるようにすることで、この問題に対処します。



特定の Web サイトの登録を保持するには、その Web サイトの URL を [お気に入り] に追加し、[お気に入り Web サイト データの保持] がオンになっていることを確認します。こうすると、Internet Explorer にその Web サイトの Cookie とキャッシュ ファイルが保持されます。

ただし、閲覧の履歴を完全に消去する必要がある場合は、[終了時に閲覧の履歴を削除] 機能を使用します。



[ページのトップへ](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/new-features.aspx#top)

**検索**

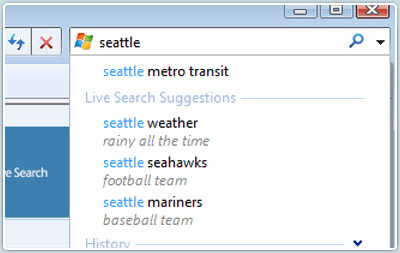
Internet Explorer 8 の検索機能は、Internet Explorer 7 で新たに導入された検索ボックス機能を基盤として構築されています。これは、OpenSearch 記述ファイルによって検索プロバイダーの追加をサポートするものです。Internet Explorer 8 では、検索ボックスが拡張され、検索クエリの強化およびセカンダリ検索プロバイダーへの簡単な切り替えに役立つ機能が追加されています。

検索に関する主要な変更点として、ユーザーがクエリをより効率的に実行できるようにするために、検索ボックスのドロップダウンが強化されています。Internet Explorer 8 の検索ボックスのドロップダウンには、オートコンプリート、検索候補、およびローカル履歴からの結果が組み込まれています。Internet Explorer 7 で導入されたオートコンプリートの結果には、それまでに検索ボックスに入力されたユーザーの検索クエリが表示されます。検索候補機能により、検索ボックスに入力すると、現在選択している検索プロバイダーから複数のクエリ候補が提示されます (詳細については、後のセクションを参照してください)。また、履歴結果には、現在検索ボックスに入力されている内容に関連し、以前ユーザーが閲覧したページが表示されます。

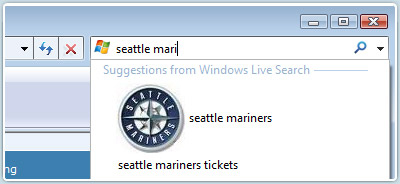
[ページのトップへ](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/new-features.aspx#top)

**検索候補**

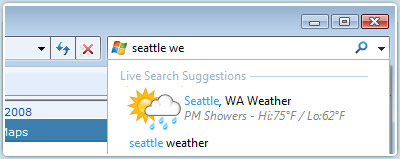
検索候補を使用すると、ユーザーが検索ボックスにテキストを入力しているときに検索プロバイダーから複数のクエリが候補として表示されます。検索候補は、現在のツール バーおよび競合ブラウザーに導入されており、主として、ユーザーが見つけたいと思っている関連用語に対するテキストの候補です。場合によっては、特定のリンクが候補として表示されることもあります。



Internet Explorer 8 では、検索候補の概念が拡張されています。クエリ文字列、リンク、またはイメージなどの視覚的候補が検索候補となります。プロバイダーでは、テキスト付きイメージを含めることも、イメージ自体を使用することもできます。マイクロソフトは、2 種類の一般的なシナリオで視覚的候補を使用できると考えています。1 つ目のシナリオでは、特定の候補が強調表示されます。次の例は、"Seattle Mariners" を検索した場合を示しています。



2 つ目のシナリオでは、多くの検索プロバイダーの結果ページに表示される検索結果に似たちょっとした情報が提示されます。次の例は、現在の天候に関する視覚的な候補です。



Internet Explorer では、候補の形式として JSON と XML の 2 つがサポートされます。JSON は、テキストの候補に使用できます。視覚的候補をサポートするのは、XML のみです。候補は、Internet Explorer 8 におけるユーザーの検索エクスペリエンスを向上させる手段ですが、必須のものではなく、候補をサポートしない検索プロバイダーは、引き続き Internet Explorer 検索ボックスから適切に動作します。

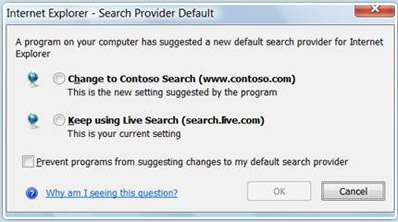
詳細については、[**速度および使いやすさの向上に関するページ (英語)**](http://go.microsoft.com/fwlink?LinkID=110284) を参照してください。

[ページのトップへ](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/new-features.aspx#top)

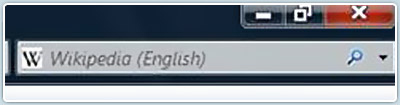
**ユーザーの基本設定の保護**

Internet Explorer 8 Beta 2 を使用する際、次のダイアログが表示されることがあります。

このダイアログは、使用しているコンピューターのプログラムが Internet Explorer の検索の既定の設定を変更しようとした場合に表示されます。



既定の検索基本設定とは、Internet Explorer のメイン ウィンドウで右上の検索ボックスにユーザーが検索クエリを入力したときに Internet Explorer が使用する検索エンジンのことです。



(この例では、Wikipedia が既定に設定されています)

Internet Explorer では、アドレス バーに質問を入力したときも既定の検索基本設定が使用されます。アドレス バーに「エベレストの高さは」と入力してみてください。

多くのプログラムは、インストーラー プログラムでユーザーの Internet Explorer 検索基本設定を変更します。変更するかどうかを (インストール プログラムのチェック ボックスを使用して) ユーザーに確認するプログラムもあります。特に明確には確認せず、通知なしで設定を変更するプログラムもあります。

アプリケーションによっては、"検索設定保護機能" という小型のプログラムも一緒にインストールされることがあり、これによって既定の検索基本設定が監視され、他のプログラム (またはユーザー) が設定を変更すると、自動的に元の検索エンジンに設定が戻されることがあります。複数のツール バーをインストールしているユーザーも多く存在し、ツール バーのインストーラー、ツール バー、および "検索設定保護機能" のすべてが検索基本設定を管理しようとして、ユーザーまたはプログラムによって設定が変更されると、さまざまな "検索設定保護機能" から変更に関する警告が示されたプロンプトが表示される場合があります。

プログラム間で制御を奪い合う状況は、ユーザーが自身の検索基本設定を完全には制御できていないことを意味します。

Internet Explorer 8 Beta 2 では、(レジストリ キーの設定によって) 既定の検索設定を変更しようとするアプリケーションのすべてでこのダイアログが表示され、要求された変更が明確に示され、変更の承認/拒否の確認が求められます。このため、プログラムが、ユーザーの承認なしに検索設定を変更することはできません。

Internet Explorer におけるこの変更は、既存のアプリケーション、ツール バー、インストーラー、または "検索設定保護機能" プログラムを破損しません。これらがユーザーの検索設定を (ユーザーのレジストリのレジストリ キーを変更することで) 変更することは可能ですが、Internet Explorer を起動すると、変更に関する通知が表示され、ユーザーは変更を承認するかどうかを選択できます。

Internet Explorer 8 Beta には、既定の検索設定を行うための新たな API も導入されています。どのアプリケーションからもこの API を呼び出して、Internet Explorer の既定の検索設定の変更を要求できます。ダイアログ ボックスが表示され (要求元のアプリケーションは明確に識別されます)、ユーザーが変更の承認/拒否を決定できます。

"検索設定保護機能" が既定の設定の変更を要求し続ける場合は、[プログラムに、既定の検索プロバイダーの変更を提案させない] チェック ボックスをオンにして、明確にユーザーの意思を示すことができます (またその後も基本設定が変更されないようにロックできます)。このように設定した場合でも、検索ボックス ドロップダウンで検索設定コマンドを使用して、既定の検索プロバイダーを随時変更できます。プログラムに干渉されることなく、ユーザーが既定の検索を必要に応じて設定することができます。

詳細については、[開発者向けの詳細に関するページ (英語)](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/developers-new.aspx#preferenceprotection) を参照してください。

[ページのトップへ](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/new-features.aspx#top)

**キャレット ブラウズ**

キャレット ブラウズは、新たなユーザー補助機能で、画面上で移動可能なカーソルとキーボードを使用して Web ページを移動できます。1 文字単位でキーボードのみを使用してテキストを選択し、コピーできます。文字以外に、表やイメージなどのコンテンツも選択とコピーが可能です。

Web ページのテキスト内でカーソルを動かすことは、Word ドキュメントのテキスト内でカーソルを動かすことと似ています。Shift キーを押しながら方向キーを押してテキストを選択します。F7 キーを押すと、キャレット ブラウズのオンとオフが切り替わります。タブごとに、またはすべてのタブとウィンドウを対象に、この機能を有効化できます。



操作によってはマウスを使用するより速いため、キーボードの使用を好むユーザーも多数存在します。たとえば、単語を選択し、ショートカット メニュー キーでアクセラレータを起動し、[Windows Live で翻訳] を選択し、スペイン語での語義を確認するといった、一連の操作をすべて、キーボードから手を離さずに実行できます。

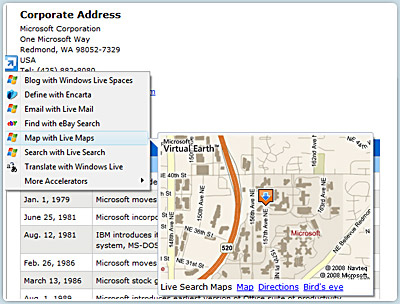


[ページのトップへ](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/new-features.aspx#top)

**アクセラレータ**

アクセラレータは、Web ページからサービスにすばやくアクセスするためのコンテキスト機能です。Web ページ間のコンテンツのコピーおよび貼り付けは、広く使用される機能ですが、アクセラレータによってこのプロセスが簡略化されます。

アクセラレータを使用すると、現在表示中の Web ページから移動しないで情報を検索できます。たとえば、レストランの場所を確認したいときは、レストランの住所を選択すると、地図のインプレース ビューが生成されます。このビューをクリックすると、地図作成サービスからの追加の情報も含まれた完全な Web ページが開きます。



アクセラレータを使用して、情報をサービスに送信することもできます。たとえば、記事の一部分をブログに引用する場合は、その部分を選択してブログ アクセラレータを使用します。これで、ブログ サイトに移動し、選択した部分が編集フィールドに表示されます。

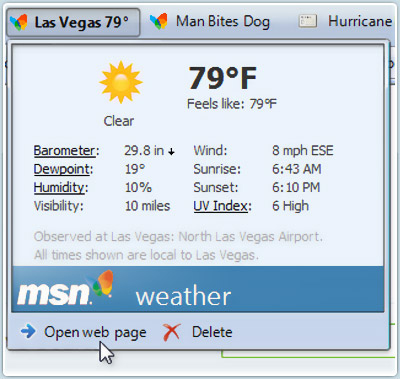
ユーザーは、アクセラレータを管理できます。アクセラレータは、Internet Explorer ギャラリー、またはアクセラレータのダウンロードが可能な Web サイトからインストールできます。

詳細については、[速度および使いやすさの向上に関するページ (英語)](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=125138) を参照してください。

[ページのトップへ](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/new-features.aspx#top)

**Web Slice**

Web Slice は、Web サイトの Web ページ内から直接コンテンツを購読することによって、Web サイトへの接続を可能にする新機能です。Web Slice はフィードと同様で、ユーザーは購読することによって更新情報と変更通知を入手できます。



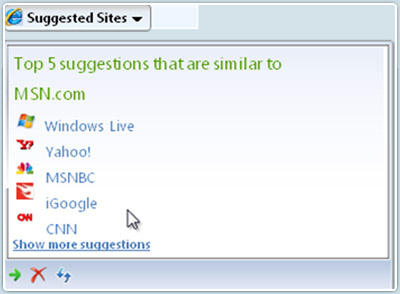
Internet Explorer 8 を使用すると、Web ページ内で Web Slice を確認でき、アドレス バーの下にある、リンクへのアクセスを簡単にするためのお気に入りバーに追加できます。Web ページを購読すると、ブラウザーによって Web Slice 内の変更が検出され、更新に関する通知が行われます。ユーザーは、お気に入りバーから直接、更新されたものをプレビューしたり、クリックでその Web サイトに移動して、詳細を確認したりできます。

詳細については、[速度および使いやすさの向上に関するページ (英語)](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=125138) を参照してください。

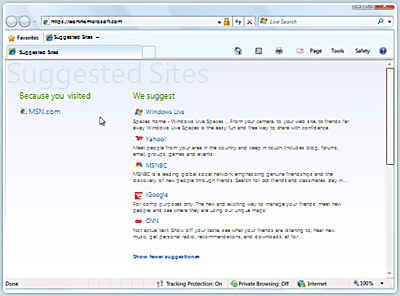
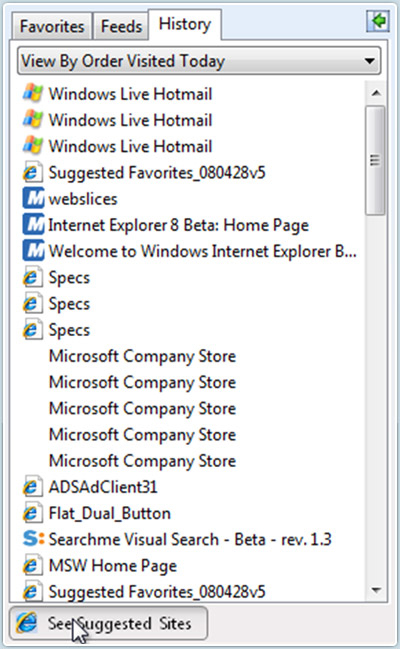
[ページのトップへ](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/new-features.aspx#top)

**サイト候補**

サイト候補は、ユーザーの関心および関連性の高い新規の Web サイトの検出に役立つ新機能です。アクセス許可に応じて、Internet Explorer から、過去にアクセスしたサイトを基準にして新しい Web サイトの候補が提示されます。これらの候補は、[サイト候補] Web Slice を開いて確認できます。



また、Internet Explorer のお気に入りセンターから [サイト候補] ページに移動する方法もあります。

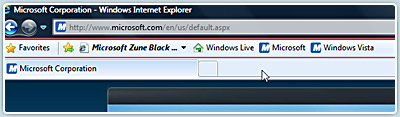


[サイト候補] は、ユーザーのプライバシーの設定に従います。履歴から削除されたサイトの候補は表示されません。また、InPrivate ブラウズが有効化されているときにアクセスしたサイトは記録されません。

[ページのトップへ](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/new-features.aspx#top)

**お気に入りバー**

Internet Explorer 7 では、リンク バーから 1 回のクリックでお気に入りのサイトにアクセスしていました。Internet Explorer 8 では、このバーが完全に刷新されています。具体的には、名前が "お気に入り" に変更されており、リンク、フィード、Web Slice などのお気に入り Web コンテンツだけではなく、Microsoft Word、Excel、および PowerPoint で作成されたドキュメントへのアクセスも可能になります。



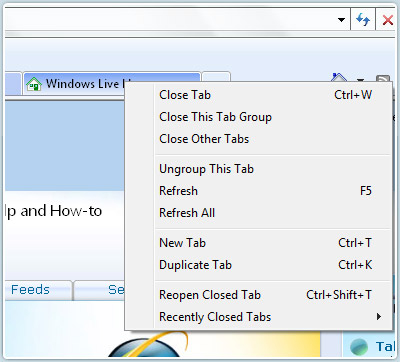
お気に入りバーにある新しい [お気に入りバーに追加] コマンドを使用すると、お気に入りバーにリンクを容易に追加できます。

詳細については、[速度および使いやすさの向上に関するページ (英語)](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=125138) を参照してください。

[ページのトップへ](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/new-features.aspx#top)

**タブ グループ**

この Internet Explorer 8 Beta 2 の新機能を使用すると、関連するタブ (同じ Web ページから発生した複数のタブ) をグループ化できます。別のタブの Web ページからリンクを開く、特定のタブを右クリックして [新しいタブ] をクリックするなどの、数種類の方法のいずれかを使用してタブ グループを構成できます。たとえば、複数の異なる検索結果を並べて確認したいとしましょう。関連するタブは、一連のタブの最後ではなく、元の検索結果ページの次のタブとして開かれます。さらに、関連するタブはすべて、同じ色で表される 1 つのグループに分類されます。たとえば、研究プロジェクト、オンライン ショッピング、1 つの新聞 Web サイトから開かれた一連のニュース記事など、閲覧タスクに応じてそれぞれ異なる色が使用されます。

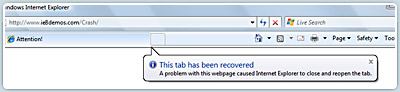


詳細については、[速度および使いやすさの向上に関するページ (英語)](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=125138) を参照してください。

[ページのトップへ](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/new-features.aspx#top)

**自動クラッシュ回復機能**

Internet Explorer 8 の自動クラッシュ回復 (ACR) 機能は、万一ブラウザーの障害や応答不能が発生した場合に作業内容が失われるのを防ぐのに役立ちます。ACR は、Internet Explorer の疎結合機能を利用して、閲覧セッションの中断を最小限に抑えるタブ回復などの新しいクラッシュ回復機能を提供します。



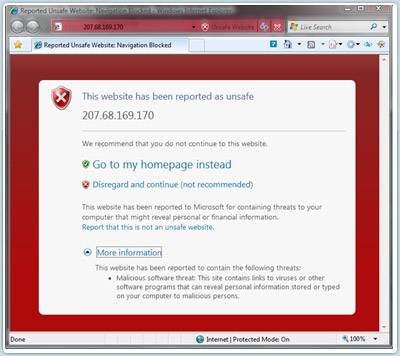
詳細については、[セキュリティ、プライバシー、および信頼性の向上に関するページ (英語)](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=125168)、および[自動クラッシュ回復機能の詳細に関するページ (英語)](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=125782) を参照してください。

[ページのトップへ](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/new-features.aspx#top)

**SmartScreen フィルター機能**

フィッシング サイトは、合法サイトを偽装してユーザーの個人情報や財務情報を盗みます。Internet Explorer 7 では、ユーザーにフィッシング サイトへのアクセスを警告するフィッシング詐欺検出機能が導入されました。Internet Explorer 8 では、毎週数百万を超えるフィッシング攻撃をブロックしたフィッシング詐欺検出機能の成果を基盤にして、SmartScreen フィルター機能が開発されました。このフィルターでは、次のような機能強化が実現します。

* ユーザー インターフェイスの向上
* パフォーマンスの高速化
* 新しいヒューリスティックの採用および遠隔測定機能の強化
* 安全でないダウンロードをブロックするマルウェア対策サポート
* グループ ポリシー サポートの向上



SmartScreen フィルター機能の詳細については、[IEBlog の IE8 Security Part III: SmartScreen® Filter に関する投稿ページ (英語)](http://blogs.msdn.com/ie/archive/2008/07/02/ie8-security-part-iii-smartscreen-filter.aspx)、または[セキュリティ、プライバシー、および信頼性の向上に関するページ (英語)](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=125164) を参照してください。

開発者向けの情報

IE8 でサイトとアドオンが機能するようにするための作業

##### 開発者のチェックリスト :

互換性 :

1. Internet Explorer 8 で各自の Web サイトに移動します。
2. Internet Explorer 7 での表示と外観が異なる場合、または動作が異なる場合は、[互換表示] を有効にします。詳細については、[互換性に関するトピック (英語)](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/developers-existing.aspx#compatibility) を参照してください。
3. [互換表示] をオンにすると、Internet Explorer 7 と同様にページがレンダリングされ、機能します。その後、[IE7 メタ タグのエミュレート](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/developers-new.aspx#updateIE7)を追加します。
4. または、[バージョニングと Internet Explorer のモードに関する説明 (英語)](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/developers-new.aspx#versioning) に記載された手順を使用し、ユーザー エージェント文字列検出で、Internet Explorer 8 が認識されるかどうかを確認します。
5. これまでの手順でページを回復できない場合は、[テスト ツール](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/testing-tools.aspx)を使用してデバッグを実行します。

ActiveX 開発者および WebOC ホスト向け :

1. 新機能の [Loosely-Coupled Internet Explorer (LCIE) に関するトピック (英語)](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/developers-existing.aspx#lcie) を参照してください。

AJAX 開発者向け :

1. [AJAX 開発の向上に関するトピック (英語)](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/developers-new.aspx#ajax) を参照してください。
2. [ネイティブ JSON サポートに関するトピック (英語)](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/developers-new.aspx#json) を参照してください。

ツール バー開発者向け :

1. [ツール バーの新機能に関する説明 (英語)](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/developers-existing.aspx#manageaddonsfeatures) を参照してください。
2. [Loosely-Coupled Internet Explorer (LCIE)](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/developers-existing.aspx#lcie)、および[DEP/NX メモリ保護](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/developers-existing.aspx#depnx)に照らして、アドオンと拡張機能をチェックしてください。これらに加えて、[120 DPI](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/developers-existing.aspx#dpi) を使用してテストを行い、ツール バーの外観を確認します。
3. 保護モード (Vista のみ) – 「[保護モードの Internet Explorer の理解と機能](http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/bb250462.aspx)」を参照して、Windows Vista で拡張機能とアプリケーションをテストし、正常にインストールされ機能することを確認します。MSDN で、[最小特権環境のアプリケーションの開発者向けベスト プラクティスおよびガイドラインに関するトピック (英語)](http://msdn.microsoft.com/library/default.asp?url=/library/en-us/dnlong/html/AccProtVista.asp) を参照して、Windows Vista のユーザー アカウント コントロールを理解してください。

レイアウト開発者向け :

1. [120 dpi](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/developers-existing.aspx#dpi) レイアウト モードでサイトをテストします。
2. [24x24 アイコン](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=125391&clcid=0x409%20)で、サイトをテストします。

上記の手順に加え、次のような新しいセキュリティ更新プログラムによってサイトがどのように保護されるのかを確認します。

* [SmartScreen フィルター機能](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/new-features.aspx#filter) (旧称 : 強化されたフィッシング詐欺検出機能)
* [DEP/NX メモリ保護](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/developers-existing.aspx#depnx)

[サイトおよびアドオンの動作を変更する機能](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/developers-existing.aspx)

このセクションでは、Internet Explorer 8 における、サイトやアドオンの機能に影響する可能性があるセキュリティおよびアーキテクチャの変更点について説明します。ここでは、ユーザー エージェント、ユーザー補助機能の向上 (ズームなど)、非管理者およびサイトごとの ActiveX、Loosely-Coupled Internet Explorer、DEP/NX メモリ保護、およびアドオンの管理の詳細が説明されています。

[開発者向けの強力な新機能](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/developers-new.aspx)

このセクションでは、開発者が Internet Explorer 8 をよく理解するのに役立つ新機能について説明します。これには、アクセラレータ、Web Slice、CSS サポートの向上、AJAX 機能におけるユーザー補助 (W3C の ARIA サポート、UI オートメーションのサポートなど) の刷新、DOM L2 Core のサポートの向上、統合された開発者ツールなどの機能があります。

IT プロフェッショナル向け

ブラウザーは、ますます IT 環境の中核を占めるようになりました。Internet Explorer 8 は、セキュリティおよびアプリケーションの互換性に留意して構築され、顧客、ユーザー、および Internet Explorer 7 アプリケーションへの投資の保護に役立ちます。グループ ポリシーと共にエンタープライズの展開および管理が標準になり、展開および構成用のツールはすべて、Microsoft の専門的なサポート組織によって支援されます。Internet Explorer 8 は、顧客およびユーザーが "ページの概念を超えて"、新しい方法で業務やオンライン サービスに接続できるように支援します。

Internet Explorer Beta 2 は、Internet Explorer 8 の展開計画のスタート ポイントとして最適です。Internet Explorer 8 は、エンタープライズのニーズに留意して構築された唯一のブラウザーで、ユーザー エクスペリエンスの強化、およびユーザーが Internet Explorer 8 を最大限に活用できるようにする開発プラットフォームの強化はもちろん、クロス サイト スクリプト攻撃などの最近のセキュリティ上の脅威に対する保護機能、ブラウザーの信頼性を強化しサポートを容易にする拡張機能、Internet Explorer 7 からの移行を支援する互換機能などの機能が組み込まれています。

1. [エンタープライズ向け技術概要のドキュメント](http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=CC1491C1-B8B6-4F2B-9AC5-65D66AD35207&displaylang=ja)で、Internet Explorer 8 の概要を参照します。
2. [Internet Explorer 8 Beta 2 をダウンロードおよびインストール](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=122865)します。
3. [MSDN](http://msdn.microsoft.com/iecompat) にアクセスして、Internet Explorer 6 および Internet Explorer 7 からの移行に関する互換性オプションを確認します。
4. Internet Explorer 8 Beta 2 を使用して、内部サイトおよび一連のビジネス アプリケーションをテストします。Internet Explorer 8 Beta 2 では、Internet Explorer 7 のレンダリング エンジンを使用してイントラネット ゾーンでサイトをレンダリングして、Internet Explorer 7 で機能したサイトが Internet Explorer 8 Beta 2 でも正しく機能するようにします。
5. 更新された[展開ガイド](http://technet.microsoft.com/ja-jp/ie/default.aspx)を使用して、展開メカニズムを決定します。

ここでは、Internet Explorer 8 Beta 2 の IT プロフェッショナル向けの機能の一部を紹介します。  
[Beta 2 の新機能 : スリップストリーミング](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/it-pro.aspx#slip)   
[新しいグループ ポリシー](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/it-pro.aspx#group)   
[IEAK の概要](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/it-pro.aspx#ieak)

##### スリップストリーミング

スリップストリーミングは、ソフトウェアをオリジナルのオペレーティング システムのインストール ファイルに統合するプロセスです。これまでは、たとえば Internet Explorer 7 を Windows XP イメージに追加する場合、通常は Windows XP イメージをインストールしてから Internet Explorer 7 をインストールして、イメージを再キャプチャしていましたが、これに 2 時間もかかる場合がありました。しかし、Internet Explorer 8 と Windows Vista では、約 15 分でオリジナルのオペレーティング システムのイメージファイルにブラウザーを統合できます。イメージを起動し、手動でブラウザーをインストールしてイメージを再キャプチャする必要はなくなりました。スリップストリーミングのサポートは、Internet Explorer 8 の累積的な更新プログラムおよび言語パッケージにも適用されます。

Internet Explorer 8 のスリップストリーミングは、Windows Vista および Windows Server 2008 でのみサポートされます。現時点では、Windows XP および Windows Server 2003 に対して、update.exe で構築された Windows コンポーネントのスリップストリーミング ソリューションは提供されていません。

Internet Explorer 8 のスリップストリーミングの詳細については、[IE 8 でスリップストリーミングを実行するための簡単な手順 (英語)](http://blogs.msdn.com/ie/archive/2008/06/20/slipstreaming-ie8.aspx) を参照して、それに従ってください。

[ページのトップへ](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/it-pro.aspx#top)

##### 新しいグループ ポリシー

グループ ポリシーによって、オペレーティング システムと、そのオペレーティング システム上で実行される Internet Explorer などのアプリケーションのインフラストラクチャが提供されます。Active Directory 環境でコンピューターのネットワークを管理している場合は、グループ ポリシーによって、コンピューターに展開された Internet Explorer 8 を管理するための総合的なポリシー設定が提供されます。グループ ポリシー設定を使用すると、1000 を超える Internet Explorer の設定で、ポリシーを基準にレジストリの設定とロックを行うことができます。

Internet Explorer 8 では、約 100 のグループ ポリシーが追加されています。たとえば、アクセラレータには、"アクセラレータを無効にする"、"COM アクセラレータを無効にする"、"非既定アクセラレータを展開する"、"既定アクセラレータを展開する"、および "ポリシー アクセラレータを使用する" の 5 つの新しいポリシーが追加されています。アクセラレータ、開発者ツール、InPrivate モードはすべて、Internet Explorer 8 の新機能で、グループ ポリシーを使用できます。

IT 管理者は、グループ ポリシーを使用することにより、機能をオフにするだけではなく、管理も行えます。たとえば、アクセラレータをオンまたはオフにする、使用するアクセラレータを決定する、アクセラレータをいくつか展開する一方でユーザーに独自のアクセラレータの追加を許可するなど、組織に最適なポリシーを構成できます。各ポリシーでは説明が表示され、機能を容易に理解できます。

Internet Explorer 8 では、SmartScreen フィルター機能、データ URI、暗号化サポートなどの新たなセキュリティ機能が提供されており、多様な攻撃からのユーザーの保護に重要な役割を果たします。これらのセキュリティ機能はすべて GP に対応しており、IT 管理者は企業環境でユーザーのセキュリティを確実に保護できます。

IT プロフェッショナルのお客様からのフィードバックに基づいて、一部のレガシ設定 (例 : セカンダリ ホーム ページ) に対するグループ ポリシー サポートを追加しています。これは Internet Explorer 7 では提供されていませんでした。また、**お気に入りバー**、および**コマンド バー**に広範なグループ ポリシー サポートが追加され、IT 管理者が Internet Explorer UI の外観を確実に制御できます。

Internet Explorer のグループ ポリシー サポートの詳細については、[Internet Explorer の展開、管理、および Web ページ サポートに関する説明 (英語)](http://technet.microsoft.com/en-us/ie/default.aspx) を参照してください。

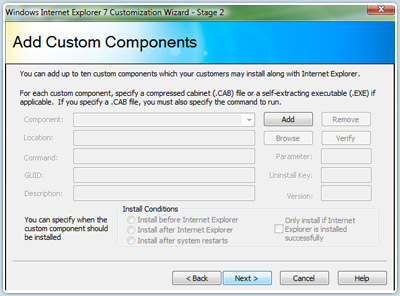
[ページのトップへ](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/it-pro.aspx#top)

##### IEAK の概要

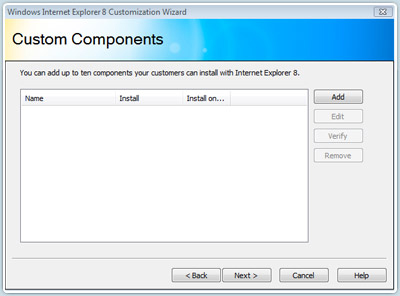
Internet Explorer 管理キット (IEAK) を使用すると、企業内、およびインターネット コンテンツ プロバイダー (ICP) とインターネット サービス プロバイダー (ISP) 間で、カスタマイズしたパッケージの展開や Internet Explorer の管理を実行できます。IEAK 8 では、ブランド化された Internet Explorer パッケージの作成、展開、および管理がさらに容易になりました。IEAK 8 は、直感的で効率化されており、アクセラレータや Web Slice などの Internet Explorer 8 の新しい主要なパフォーマンス強化機能のすべてのカスタマイズを可能にします。

##### 直感性

**カスタム コンポーネント**は、ウィザードのフロー全体をさらに最適化するために再設計されたダイアログ ボックスの好例です。このダイアログ ボックスには、カスタム コンポーネントの一覧が表示され、ポップアップ ウィンドウからアイテムの追加と削除を容易に実行できます。



Internet Explorer 7 の画面イメージ



Internet Explorer 8 の画面イメージ

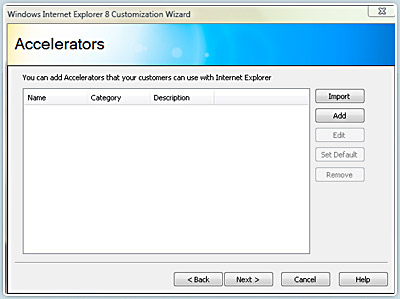
その他の変更点 :

* 追加されたすべての新画面を勘案しても、IEAK8 は IEAK7 よりサイズが小さくなっています。
* 多数の画面でコンテンツが拡張されました。
* 開始ステージの画面が削除され、ウィザードが簡略化されました。
* 多数の画面で指示内容が書き直され、明確で簡潔になりました。
* 更新内容を反映するためヘルプのコンテンツも更新され、ユーザーにわかりやすいガイダンスが提供されます。

IEAK8 では、Windows Vista および Windows Server 2008 向けのすべてのパッケージもサポートされます。

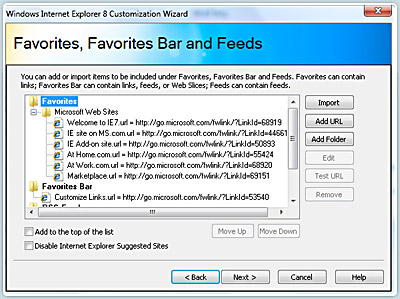
###### 新しい画面と機能

IEAK8 では、カスタム アクセラレータを追加する機能など、Internet Explorer 8 と共にインストールされる新機能のカスタマイズがサポートされています。アクセラレータの追加は容易で、必要なアクセラレータの XML ファイルを指すよう指定するか、ローカルのコンピューターから既存のアクセラレータをインポートするだけで済みます。詳細については、[アクセラレータに関する説明 (英語)](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/developers-new.aspx#accelerators) を参照してください。



[検索プロバイダーの追加] ダイアログ ボックスに、新たに検索機能が追加されました。新しい検索プロバイダーでは、お気に入りアイコン、URL 候補、またはアクセラレータのプレビューを組み込むことができます。

[お気に入り、お気に入りバー、およびフィード] ダイアログ ボックスが更新され、カスタム [Web Slice](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/developers-new.aspx#webslices) を追加できます。さらに、追加の際に、お気に入り、フィード、および Web Slice の場所と表示順序を指定できます。



ダイアログ画面のそれぞれで、**初回実行ウィザード**および**互換表示**をカスタマイズできます。企業ライセンスの IEAK8 ではさらに、[追加設定] ダイアログ ボックスで InPrivate モード、開発者ツール、キャレット ブラウズなどの新機能のカスタマイズも実行できます。

これらは IEAK8 の拡張機能の一部にすぎません。詳細については、[Internet Explorer の展開、管理および Web ページのサポートに関する説明 (英語)](http://technet.microsoft.com/en-us/ie/default.aspx) が役に立ちます。また、[IEblog (英語)](http://blogs.msdn.com/ie/) も参照してください。

テスト ツール

ここでは、Internet Explorer 8 で実行するアプリケーションのテストおよび変更に役立つ開発およびテスト ツールを紹介します。

Web サイトのデバッグ

[ユーザー エージェント文字列の変更のデバッグ](http://www.fiddlertool.com/useragent.aspx)  
このプログラムでは、Internet Explorer の現在のユーザー エージェント文字列のレポートがスクリプトと共に生成され、他のバージョンの Internet Explorer のユーザー エージェント文字列、および MSDN ユーザー エージェント文字列の記事へのリンクがシミュレーションされます。

[Internet Explorer 開発者ツール](http://www.microsoft.com/windows/internet-explorer/beta/readiness/developers-new.aspx#tools)  
Internet Explorer 8 には、Web 開発者に必要なツールが用意されており、ブラウザーから直接、各自のサイトのデバッグおよびプロファイルの作成を効率的に実行できます。

[Fiddler](http://www.fiddlertool.com/)  
これは、コンピューターとインターネット間のすべての HTTP トラフィックをログに記録する HTTP デバッグ用のプロキシです。

[Process Monitor v1.26](http://technet.microsoft.com/en-us/sysinternals/bb896645.aspx)  
プロセス モニターは、Windows の高度な監視ツールで、リアルタイム ファイル システム、レジストリ、およびプロセス/スレッド アクティビティを表示します。

[Process Explorer v11.11](http://technet.microsoft.com/en-us/sysinternals/bb896653.aspx)  
このプログラムでは、開かれているか読み込まれたハンドルと DLL に関する情報が表示されます (Vista および XPSP2)。

[RSS Feeds Validator](http://validator.w3.org/feed/)  
これは、W3C のサービスで、RSS フィードの構文をチェックします。

[CSS テスト ページ](http://go.microsoft.com/fwlink?LinkID=110283)  
Internet Explorer 8 Beta 1 のテストに使用された CSS 2.1 テスト ページは、基本的な CSS 2.1 プロパティ サブセットのサポートおよび CSS 2.1 仕様で呼び出されるシナリオの検証に使用されます。

[IE Compat Test Tool](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=82101&clcid=0x409)  
Internet Explorer Compatibility Test Tool (IECTT) は、Application Compatibility Toolkit (ACT) の一部で、Internet Explorer 8 と Internet Explorer 7 のアプリケーションおよび Web サイトの互換性の問題の確認に利用されます。IECTT は、Web ベースの問題を特定し、ACT ログ処理サービスにデータをアップロードして、結果をリアルタイムで表示します。このツールは、アプリケーション互換性テストのコスト軽減、アプリケーションの優先順位の設定、および Internet Explorer の迅速な展開に役立ちます。

Web サイトの設計と作成

[Expression Web](http://www.microsoft.com/expression/products/overview.aspx?key=web)  
Microsoft Expression Web は、最新の標準ベースのサイトを作成するプロフェッショナル向けの設計ツールで、Web の品質を高めます。

[Visual Web Developer Express](http://www.microsoft.com/express/vwd/)  
Visual Web Developer 2008 Express Edition は、使用と習得が容易なプログラムで、初心者からプロの開発者まで、ASP.NET Web サイトを作成できます。

役に立つリソースへのリンク

[Internet Explorer VPC (英語)](http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyId=21EABB90-958F-4B64-B5F1-73D0A413C8EF&displaylang=en)  
Windows XP SP2 上の Internet Explorer で Web サイトをテストするための VPC ハード ディスク イメージです。

[Internet Explorer 8 Beta 1 : 技術概要](http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=CC1491C1-B8B6-4F2B-9AC5-65D66AD35207&displaylang=ja)  
Windows Internet Explorer 8 Beta 1 for Developers の新しいテクノロジと機能が記載されています。

[Internet Explorer 8 for Developers の新機能 (英語)](http://msdn.microsoft.com/en-us/library/cc288472%28VS.85%29.aspx)  
Internet Explorer 8 Beta 2 のプラットフォーム機能が記載されています。

[Internet Explorer デベロッパー センター](http://msdn.microsoft.com/ja-jp/ie/default.aspx)  
HTML、ドキュメント オブジェクト モデル (DOM)、ダイナミック HTML (DHTML)、カスケード スタイル シート (CSS) を使用して、見た目が良く、特定のブラウザーに依存しない Web サイトを構築するための Web 開発者向けリソースです。

互換性に関連するリンク

[Internet Explorer 8 の互換性テストに関するガイドのページ (英語)](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=124591&clcid=0x409)  
Internet Explorer 8 をテストし、Web サイトおよびログのバグを減らします。

コミュニティ

[Internet Explorer チームのブログ (英語)](http://blogs.msdn.com/ie)  
Internet Explorer チームのすべての最新情報が見つかるブログです。

[Internet Explorer 開発者フォーラム (英語)](http://forums.microsoft.com/MSDN/ShowForum.aspx?ForumID=923&SiteID=1)  
HTML、CSS、および Internet Explorer 用スクリプトなど、Web 開発に関するディスカッションのページです。

[Internet Explorer 拡張機能開発フォーラム (英語)](http://forums.microsoft.com/MSDN/ShowForum.aspx?ForumID=924&SiteID=1)  
アクセラレータ、Web Slice、および Internet Explorer 用アドオンの構築に関するディスカッションのページです。

[Internet Explorer 8 Beta のニュースグループ (英語)](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=110585)  
このニュースグループは、最新の Internet Explorer Beta リリースに関するさまざまな事項のディスカッションに使用されます。

Windows Internet Explorer 8 Beta 2   
リリース ノート

**重要 :** この記事には、コンピューターのセキュリティ設定を低くしたり、セキュリティ機能をオフにしたりする方法が記載されています。このような変更は、特定の問題への対処を目的として行われます。この変更を実行する前に、各自の環境でこの対応策の実装に付随するリスクを評価することをお勧めします。この対応策を実装する場合は、コンピューターの保護に役立つ適切な追加手順も実行してください。

**はじめに**

ここには、Windows Internet Explorer 8 Beta 2 のリリース ノートが記載されています。

[ページのトップへ](http://support.microsoft.com/kb/949787/en-us#top)



**詳細情報**

**サード パーティ アプリケーションとの互換性**

**HP Smart Web Printing**

Internet Explorer 8 Beta 2 では、特定のバージョンの HP Smart Web Printing アドインがインストールされていると、互換性の警告が表示されます。この問題は、Internet Explorer 8 Beta 2 と特定のバージョンのアドインの互換性がないために発生し、インストールが不安定になります。このアドインを無効にすると、この製品で提供される機能が削除されます。  
  
詳細および更新情報については、次の HP Smart Web Printing の Web サイトにアクセスしてください。

<http://h71036.www7.hp.com/hho/cache/482779-0-0-225-121.html?jumpid=hpr_R1002_USEN> (http://h71036.www7.hp.com/hho/cache/482779-0-0-225-121.html?jumpid=hpr\_R1002\_USEN)

**Google ツール バー**

Internet Explorer 8 Beta 2 では、特定のバージョンの Google ツール バー アドインがインストールされていると互換性の警告が表示されます。この問題は、Internet Explorer 8 Beta 2 と特定のバージョンのアドインの互換性がないために発生し、インストールが不安定になります。このアドインを無効にすると、この製品で提供される機能が削除されます。  
  
詳細および更新情報については、次の Google ツール バーの Web サイトにアクセスしてください。

<http://toolbar.google.com/tbredir?r=ie8_upgrade> (http://toolbar.google.com/tbredir?r=ie8\_upgrade)

**Roxio Drive Letter Access**

Internet Explorer 8 Beta 2 では、特定のバージョンの Drive Letter Access (DLA) アドインがインストールされていると互換性の警告が表示されます。この問題は、Internet Explorer 8 Beta 2 と特定のバージョンのアドインの互換性がないために発生し、インストールが不安定になります。このアドインを無効にしても、DLA 製品の主要機能には影響しません。  
  
詳細および更新情報については、次の Roxio の Web サイトにアクセスしてください。

<http://www.roxio.com/enu/products/dla/overview.html> (http://www.roxio.com/enu/products/dla/overview.html)

**Skype**

Internet Explorer 8 Beta 2 では、特定のバージョンの Skype アドインがインストールされていると互換性の警告が表示されます。この問題は、Internet Explorer 8 Beta 2 と特定のバージョンのアドインの互換性がないために発生し、インストールが不安定になります。このアドインを無効にしても、Skype 製品の主要機能には影響しません。  
  
ご使用の Skype アドインのバージョンが 2.2.0.193 以降のバージョンであることを確認してください。確認するには、Internet Explorer の [ツール] メニューで、[アドオンの管理] をポイントし、[アドオンの有効化または無効化] をクリックします。  
  
詳細および更新情報については、次の Skype の Web サイトにアクセスしてください。

<http://www.skype.com> (http://www.skype.com)

**Visual Studio .NET**

Internet Explorer 8 Beta 2 と Visual Studio .NET (2002 年以降のバージョン 7.0) は現在、互換性がありません。Internet Explorer 8 Beta 2 をインストールすると、Visual Studio .NET がクラッシュします。現時点では、これに対処する方法はありません。

**Real Networks RealPlayer 11**

Windows Vista Service Pack 1 または Windows Server 2008 上でベータ バージョンの Internet Explorer 8 と共に Real Networks RealPlayer 11 を使用した場合に発生する、アプリケーションの互換性の既知の問題があります。この問題を解決するには、修正プログラム 957055 をインストールします。これで、Internet Explorer 8 Beta 2 をインストールする際にこの更新プログラムが自動的に受信されるようになります。  
  
詳細については、次の記事番号をクリックして、マイクロソフト サポート技術情報の記事を参照してください。

[957055](http://support.microsoft.com/kb/957055/) (http://support.microsoft.com/kb/957055/) Windows Vista Service Pack 1 または Windows Server 2008 のコンピューターから Internet Explorer 8 Beta で、埋め込まれた RealNetworks RealPlayer 11 を使用してビデオを再生しようとすると、RealPlayer が正常にインストールされていても RealPlayer をダウンロードするように求められます。

Internet Explorer 8 Beta 2 と RealPlayer 11 の両方をインストールする必要がある場合は、先に RealPlayer 11 をインストールする必要があります。  
  
Internet Explorer 8 Beta 2 をインストールした後で RealPlayer 11 をインストールすると、アプリケーションの互換性の問題が発生する場合があります。この問題を解決するには、Internet Explorer 8 Beta 2 をアンインストールしてから、インストールし直します。

**Windows Live メール**

Internet Explorer 8 Beta 2 は、Windows Live と互換性があります。

**Netflix**

Internet Explorer 8 Beta 2 と Netflix の間には、既知の互換性の問題があります。Internet Explorer 8 Beta 2 のユーザーは、Netflix を使用してオン デマンド方式の映画を視聴できません。マイクロソフトは、できる限り早急にこの問題を解決するため、Netflix と協力して作業しています。問題が解決されたら、このリリース ノートは直ちに更新されます。

**Visual Basic 6.0 で作成された ActiveX コントロール**

Internet Explorer 8 Beta 2 と Visual Basic 6.0 ランタイムには互換性の問題があるため、Visual Basic 6.0 で作成された ActiveX コントロールでは、モーダル ダイアログ ボックスが表示できません。ActiveX コントロールから開いたどのダイアログ ボックスからも、Internet Explorer 8 Beta 2 に戻ることができます。

**Window-Eyes**

Window-Eyes スクリーン リーダーを使用している場合は、一部の Web サイトを正しく読み取れない場合があります。この問題に対処するには、[ツール] または [ページ] メニューで、[互換表示] をクリックして、Web サイトを互換表示モードにします。

**サイトの互換性**

空白ページが表示されるなど、Web サイトが正しく表示されない場合、およびメニュー、イメージ、またはテキストが正しく配置されない場合は、互換表示機能を使用して問題を解決します。互換表示により、Internet Explorer 7 での表示と同様にページが表示されます。  
  
表示や動作が正しく行われない特定の Web サイトで互換表示を有効にするには、次の手順を実行します。

|  |  |
| --- | --- |
| 1. | Internet Explorer 8 Beta 2 で、表示や動作が正しく行われない Web サイトを開きます。 |
| 2. | [互換表示] アイコンをクリックします。このアイコンは、アドレス バーの右側にあります。または、[ツール] メニューで [互換表示] をクリックする方法もあります。 |

**Hotmail のログオフ**

Internet Explorer 8 Beta 2 では、Hotmail の [サインアウト] リンクをクリックしても、Hotmail のログオフが完全には実行されない場合があります。Internet Explorer で Hotmail からのログオフを確認するには、Hotmail のログオフ後に [サインイン] リンクをクリックします。

[ページのトップへ](http://support.microsoft.com/kb/949787/en-us#top)



**Internet Explorer 8 Beta 2 の既知の問題**

**Internet Explorer 7 からアップグレードすると、ClearType が "無効" に戻る**

ClearType が有効化されている Internet Explorer 7 のバージョンから Internet Explorer 8 Beta 2 にアップグレードすると、ClearType が無効化されます。ClearType を有効に戻すには、次の手順を実行します。  
  
**Windows XP および Microsoft Windows Server 2003**

|  |  |
| --- | --- |
| 1. | [スタート] ボタン、[ファイル名を指定して実行] の順にクリックし、「Inetcpl.cpl」と入力して、[OK] をクリックします。 |
| 2. | [インターネットのプロパティ] ダイアログ ボックスで、[詳細設定] タブをクリックし、[マルチメディア] セクションの [HTML で常に ClearType を使用する] をクリックします。 |

**Windows Vista**

|  |  |
| --- | --- |
| 1. | [スタート] ボタン をクリックし、[検索の開始] ボックスに「Inetcpl.cpl」と入力して、[プログラム] 一覧で [inetcpl.cpl] をクリックします。 |
| 2. | [インターネットのプロパティ] ダイアログ ボックスで、[詳細設定] タブをクリックし、[マルチメディア] セクションの [HTML で常に ClearType を使用する] をクリックします。 |

**Windows Search で発生する問題**

Internet Explorer 8 Beta 2 の新しいアドレス バーでは、ユーザーの入力に従って履歴、お気に入り、および RSS フィードのタイトルとアドレスが検索されます。この機能を使用すると、すばやく簡単にサイトを検索できます。この機能は、Windows Search がインストールされ、有効化されている場合に最適の動作が得られます。  
  
Internet Explorer 8 Beta 2 は、Windows Search 3 およびそれ以降の Windows Search バージョンで機能します。Windows Vista には既に Windows Search 3 が組み込まれています。どの Windows オペレーティング システムでも、Windows Search 4 を追加すると、アドレス バーの検索機能のすべてを利用できます。  
  
Windows Search を入手するには、次の Microsoft Web サイトにアクセスしてください。

<http://www.microsoft.com/windows/products/winfamily/desktopsearch/getitnow.mspx> (http://www.microsoft.com/windows/products/winfamily/desktopsearch/getitnow.mspx)

Windows Search の詳細については、次の Microsoft Web サイトにアクセスしてください。

<http://www.microsoft.com/windows/products/winfamily/desktopsearch/choose/windowssearch4.mspx> (http://www.microsoft.com/windows/products/winfamily/desktopsearch/choose/windowssearch4.mspx)

Windows Search がインストールされると、Internet Explorer 8 Beta 2 では、アドレス バー検索プロシージャに対して Windows Search が自動的に使用されるようになります。Internet Explorer 8 Beta 2 と Windows Search は、任意の順序でインストールできます。  
  
Windows Search 3 で安定性またはパフォーマンス上の問題が発生した場合は、Windows Search 4 へのアップグレードをお勧めします。こうすることで、Windows Search 3 に関連する多くの問題が解決されます。  
  
Windows Search 4 を入手するには、次の Microsoft Web サイトにアクセスしてください。

<http://www.microsoft.com/windows/products/winfamily/desktopsearch/getitnow.mspx> (http://www.microsoft.com/windows/products/winfamily/desktopsearch/getitnow.mspx)

Internet Explorer 8 Beta 2 では、Windows Search に検索範囲 **iehistory://{GUID}** および **ierss://{GUID}** が追加されます。これらの検索範囲は、[インデックスのオプション] コントロール パネルに一覧表示されます。Internet Explorer 8 Beta 2 では、これらの検索範囲が、わかりやすい名前とアイコンに更新されます。これらの検索範囲は、ユーザーや管理者が構成または削除することはできません。  
  
Microsoft Office Outlook 2003 または Microsoft Office Outlook 2007 と共に Internet Explorer 8 Beta 2 を使用した場合は、Internet Explorer アドレス バーの表示に時間がかかる場合があります。この問題は、Outlook で大量の新規電子メール メッセージのインデックスを作成している場合に発生します。この問題は、たとえば、システムが休止状態から再開された場合に発生することがあります。  
  
Windows Search が有効化されていると、Internet Explorer アドレス バー メニューのタイトルと URL が 1,024 文字に制限されます。つまり、URL が非常に長い場合、URL が切り捨てられる可能性があるということです。このため、メニューから URL を選択したときに URL が正しく開かれない場合があります。この問題は、Internet Explorer 8 の今後のバージョンで修正される予定です。

**Web Slice が更新されないことがある**

Web Slice ウィンドウで、[最新の情報に更新] ボタンをクリックしても、現在の Web Slice が更新されないことがあります。更新されたコンテンツを表示するには、[開く] ボタンをクリックして Web ページ全体を表示します。  
  
基本認証を使用する Web Slice では、エラー メッセージを表示することなく、空白のプレビュー ウィンドウが表示されます。

**InPrivate ブラウズで、Web サイトが正しくコピーされない**

Windows Vista または Windows Server 2008 で、InPrivate セッションでの Web 閲覧時に、互換表示で表示される Web サイトの一覧が、InPrivate 以外のセッションで保持されている別の一覧から正しくコピーされません (詳細については、[ページ] メニューの [互換表示設定] を参照してください)。  
  
InPrivate セッションの互換表示の一覧には、InPrivate ブラウズの起動後 InPrivate 以外のセッションで追加された Web サイトを追加できます。これを実行するには、[ページ]、[互換表示設定]、[閉じる] の順にクリックします。変更を有効にするには、現在のページの更新が必要な場合もあります。

**"ブランドの削除" 機能で一部の種類のブランドが削除されない**

[Internet Explorer の設定のリセット] 機能の [ブランドの削除] 機能で、一部の種類のブランドが削除されません。この問題は、Internet Explorer 8 の今後のバージョンで解決される予定です。

**検索候補機能を使用すると、Internet Explorer 8 Beta 2 が不安定になる場合がある**

64 ビット バージョンの Windows Server 2003 または Windows XP で Internet Explorer 8 Beta 2 を実行し、かつ検索候補機能を利用する検索プロバイダーを使用すると、インストールが不安定になる場合があります。この問題に対処するには、[ツール] メニューの [アドオンの管理] を使用して検索候補機能を無効にします。

[ページのトップへ](http://support.microsoft.com/kb/949787/en-us#top)



**標準のサポート**

**Internet Explorer 8 標準モードでは CSS Expression はサポートされない**

CSS Expression は、パフォーマンス コストが高い CSS 専用の拡張機能です (CSS Expression は "Dynamic Properties" とも呼ばれます)。Internet Explorer 8 Beta 2 以降、Internet Explorer 標準モードでは CSS Expression がサポートされなくなりました。Internet Explorer 7 の Strict モードおよび Quirk モードでは、下位互換性保持のため、引き続き CSS Expression がサポートされます。

**代替スタイル シート**

Internet Explorer 8 Beta 2 では、HTML4 および CSS2.1 によって指定される代替スタイル シートがサポートされます。Web ページ作成者が定義した代替スタイルにアクセスするには、[ページ] メニューまたは [表示] メニューにある [スタイル] メニューを使用します。いずれかのメニューから [スタイルなし] を使用すると、作成者が定義したスタイルをすべて無効にできます。

[ページのトップへ](http://support.microsoft.com/kb/949787/en-us#top)



**Internet Explorer 管理キット (IEAK) 8 Beta**

IEAK 8 Beta を入手するには、次の Microsoft Web サイトにアクセスしてください。

<http://technet.microsoft.com/ja-jp/ie/bb219517.aspx> (http://ieak.microsoft.com)

**注 :** IEAK 8 Beta は、Internet Explorer 8 Beta 2 以降のバージョンの Internet Explorer がインストールされている場合にのみインストールが可能です。

**IEAK 8 Beta の既知の問題**

**[リストの上部に追加] オプションが機能しない**

カスタマイズ ウィザードの [Favorites customization] ページには、お気に入りを対象コンピューターの既存の一覧に追加するオプションがあります。しかし、IEAK 8 Beta では、このオプションが機能しません。カスタマイズ パッケージのお気に入りは、お気に入りをインストールする際に、お気に入りの一覧にマージされ、並べ替えられます。

**アクセラレータが正常にインポートできないことがある**

カスタマイズ パッケージを作成する際に、カスタマイズ パッケージのアーキテクチャと .ins ファイルのアーキテクチャが同じ場合のみ、アクセラレータから .ins ファイルが正常にインポートされます。IEAK 8 Beta では、[アクセラレータ] ページにアクセラレータが一覧表示されますが、アクセラレータを含むパッケージは作成されません。  
  
この問題は、IEAK の今後のバージョンで解決される予定です。問題が解決されれば、カスタマイズ ウィザードでアーキテクチャの異なる .ins ファイルからアクセラレータをインポートできるようになります。

[ページのトップへ](http://support.microsoft.com/kb/949787/en-us#top)



**グループ ポリシーのサポート**

Internet Explorer 8 Beta 2 では、グループ ポリシーに関して次の既知の問題があります。

|  |  |
| --- | --- |
| • | **[ユーザー | コンピューター] – [管理用テンプレート] – [Windows コンポーネント] - [Internet Explorer] – [インターネット コントロール パネル] – [詳細設定] ページ**  Internet Explorer 8 Beta 2 では、"キャレット ブラウズのサポートを有効にする" グループ ポリシー設定が機能しません。この問題は、Internet Explorer の今後のバージョンで解決される予定です。 |
| • | **[ユーザー | コンピューター] – [管理用テンプレート] – [Windows コンポーネント] – [RSS フィード]**  Internet Explorer 8 Beta 2 では、"フィードと Web Slice の一覧を無効にする" グループ ポリシー設定が機能しません。このグループ ポリシーは Web Slice に影響しません。RSS フィードは、このポリシー設定で制御できます。この問題は、Internet Explorer の今後のバージョンで解決される予定です。 |
| • | **[ユーザー | コンピューター] – [管理用テンプレート] – [Windows コンポーネント] - [Internet Explorer] – [セキュリティの機能]** Internet Explorer 8 Beta 2 では、"接続スケーリングを無効にする" グループ ポリシー設定が機能しません。この問題は、Internet Explorer の今後のバージョンで解決される予定です。  Internet Explorer 8 Beta 2 では、"クロス ドメイン オブジェクト要求を無効にする" グループ ポリシー設定が機能しません。この問題は、Internet Explorer の今後のバージョンで解決される予定です。  Internet Explorer 8 Beta 2 では、"クロス ドキュメント メッセージングを無効にする" グループ ポリシー設定が機能しません。この問題は、Internet Explorer の今後のバージョンで解決される予定です。 |
| • | **[ユーザー | コンピューター] – [管理用テンプレート] – [Windows コンポーネント] - [Internet Explorer] – [閲覧の履歴の削除]**  "ユーザーが訪問した Web サイトの削除を禁止する" グループ ポリシー設定の説明テキストが正しくありません。正しい説明テキストは次のとおりです。  このポリシー設定は、訪問先 Web サイトの履歴の削除を防止します。この機能は、[閲覧履歴の削除] ダイアログ ボックスで使用できます。  このポリシー設定を有効にすると、ユーザーがアクセスした Web サイトは、ユーザーが [履歴の削除] をクリックしても維持されます。  このポリシー設定を無効にすると、ユーザーがアクセスした Web サイトは、ユーザーが [履歴の削除] をクリックすると削除されます。  このポリシー設定が構成されていない場合、[履歴の削除] をクリックしたときに、アクセスした Web サイトを削除するか、維持するかをユーザーが決定できます。  "閲覧の履歴の削除機能を無効にする" グループ ポリシー設定が有効の場合、このポリシーは既定で有効になります。  "お気に入りサイト データの削除を禁止する" グループ ポリシー 設定の説明テキストが正しくありません。正しい説明テキストは次のとおりです。  このポリシー設定は、[閲覧の履歴の削除] ダイアログ ボックスで [お気に入りの維持] サイト データ オプションを無効にするのに使用します。  このポリシー設定を有効にした場合、ユーザーが [お気に入りの削除] をクリックすると、お気に入りサイトのデータが削除されます。  このポリシー設定を無効にした場合、ユーザーが [お気に入りの削除] をクリックしても、お気に入りサイトのデータは維持されます。  このポリシー設定が構成されていない場合、[お気に入りの削除] をクリックしたときにお気に入りサイトを削除するか、維持するかをユーザーが決定できます。  "閲覧の履歴の削除を無効にする" グループ ポリシー設定が有効の場合、このポリシーは機能しません。 |
| • | **[ユーザー | コンピューター] – [管理用テンプレート] – [Windows コンポーネント] - [Internet Explorer] – [セキュリティの機能]**  Internet Explorer 8 Beta 2 では、"クロス ドキュメント メッセージングを無効にする" グループ ポリシー設定が機能しません。この問題は、Internet Explorer の今後のバージョンで解決される予定です。 |
| • | **[ユーザー | コンピューター] – [管理用テンプレート] – [Windows コンポーネント] - [Internet Explorer] – [互換表示]**  Internet Explorer 8 Beta 2 では、"[互換表示] ボタンを無効にする" グループ ポリシー 設定が機能しません。この問題は、Internet Explorer の今後のバージョンで解決される予定です。 |

[ページのトップへ](http://support.microsoft.com/kb/949787/en-us#top)



**Internet Explorer 8 Beta 2 のスリップストリーミング時の既知の問題**

Internet Explorer 8 Beta 2 を Windows Vista のイメージにスリップストリーミングする際は、Internet Explorer の既定の設定を構成できます。しかし、Internet Explorer 8 Beta 2 では、スリップストリーミングの際に、次の既定の設定を構成できません。

|  |  |
| --- | --- |
| • | **[IE7 のエミュレート] の設定**  Windows システム イメージ マネージャーの [IE7 のエミュレート] の設定は機能しません。Internet Explorer 8 Beta 2 は、既定のモードで実行されます。既定のモードとは、Internet Explorer 8 標準モードです。 |
| • | **"DisallowMovingStopRefreshButtons" の無人設定**  Windows システム イメージ マネージャーでは、Microsoft-Windows-IE-InternetExplorer\DisallowMovingStopRefreshButtons の無人設定が機能しません。[中止] および [最新の情報に更新] ボタンがロックされ、ユーザーが変更することはできません。 |

[ページのトップへ](http://support.microsoft.com/kb/949787/en-us#top)



**Internet Explorer 8 Beta 2 のインストール時の既知の問題**

**重要 :** Windows Small Business Server 2003 を実行している場合は、Internet Explorer 8 Beta 2 をインストールしないでください。

**アップグレードの際にコマンド バーのカスタマイズ内容が移行されない**

Internet Explorer 7 から Internet Explorer 8 Beta 2 にアップグレードすると、コマンド バーは Internet Explorer 8 Beta 2 の既定の設定になります。Internet Explorer 7 でコマンド バーをカスタマイズしている場合は、Internet Explorer 8 Beta 2 でコマンド バーをカスタマイズし直すことができます。これには、コマンド バーを右クリックし、[カスタマイズ] をクリックします。  
  
**注 :** Internet Explorer 8 Beta 2 をアンインストールすると、Internet Explorer 7 のカスタマイズ内容が復元されます。

**Windows XP または Windows Server 2003 で Internet Explorer 6 からアップグレードすると、JScript エラーが発生することがある**

Windows XP または Windows Server 2003 を実行しているシステムでは、Microsoft Internet Explorer 6 から Internet Explorer 8 Beta 2 にアップグレードしないでください。Internet Explorer に偽の JScript エラーが表示され、お気に入りや Web Slice の追加が不能になるインストール上の問題がまれに発生することがあります。  
  
この問題に対処するには、Windows Internet Explorer 8 Beta 2 をアンインストールし、Internet Explorer 7 をインストールしてから Windows Internet Explorer 8 Beta 2 にアップグレードしてください。

**Internet Explorer 8 Beta 2 のアイコンが見つからない**

64 ビット バージョンの Windows Vista を実行しているコンピューターで、Internet Explorer 8 Beta 1 から Internet Explorer 8 Beta 2 にアップグレードすると、[スタート] メニューの [すべてのプログラム] に 32 ビット バージョンの Internet Explorer 8 Beta 2 のアイコンが表示されなくなります。

**Internet Explorer 8 Beta 1 が既にインストールされている場合、Internet Explorer 8 Beta 2 のインストールを続行するように求められる**

Windows XP を実行しているコンピューターで、Internet Explorer 8 Beta 1 をインストールしてから、Windows XP Service Pack 3 をインストールします。その後、Internet Explorer 8 Beta 2 をインストールします。このとき、次のメッセージが表示されます。

Internet Explorer 8 のインストール  
  
Internet Explorer 8 のインストールを続行しますか?  
  
セットアップは、以前のバージョンの Internet Explorer 8 のインストール後に、オペレーティング システムの新しいサービス パックがインストールされたことを検出しました。このインストールを完了すると、Internet Explorer 8 をアンインストールできなくなります。  
  
[OK] ボタンをクリックすると、Internet Explorer 8 Beta 2 のインストールを続行できますが、アンインストールできなくなります。  
  
この問題に対処し、Internet Explorer 8 Beta 2 のアンインストールを可能にするには、[キャンセル] をクリックして、Internet Explorer 8 Beta 2 をインストールする前に、次の手順を実行します。

|  |  |
| --- | --- |
| • | Windows XP Service Pack 3 をアンインストールします。 |
| • | Internet Explorer 8 Beta 1 をアンインストールします。 |
| • | Windows XP Service Pack 3 をインストールします。 |
| • | Internet Explorer 8 Beta 2 をインストールします。 |

**インストールの問題のトラブルシューティング**

Internet Explorer 8 Beta 2 をインストールできない場合は、次の手順を実行します。

|  |  |
| --- | --- |
| 1. | 再開に必要な保留中の更新プログラムのインストールを可能にするため、コンピューターを再起動します。 |
| 2. | Windows Update サービスが実行されていることを確認します。確認には、次の手順を使用します。   |  |  | | --- | --- | | a. | [スタート] ボタン、[ファイル名を指定して実行] の順にクリックし、「services.msc」と入力して、Enter キーを押します。 | | b. | [サービス] の一覧で、Windows Update サービスを探します。Windows Update サービスが実行されていない場合は開始してください。 | |

実行しているオペレーティング システムによっては、Internet Explorer 8 Beta 2 に、次の更新プログラムが必要になります。Internet Explorer 8 Beta 2 セットアップ プログラムによって、システムに必要な更新プログラムが自動的にインストールされます。

|  |  |
| --- | --- |
| • | 修正プログラム 932823  [932823](http://support.microsoft.com/kb/932823/) (http://support.microsoft.com/kb/932823/) Windows Server 2003 または Windows XP を実行しているコンピューターで、Windows Internet Explorer を使用してファイルをダウンロードできないことがある  この修正プログラムをインストールして、Internet Explorer 7 でファイルをダウンロードできない問題を解決します。この問題は、Input Method Editor を有効に設定した Windows XP を実行するコンピューターで発生します。 |
| • | 更新プログラム 946501  [946501](http://support.microsoft.com/kb/946501/) (http://support.microsoft.com/kb/946501/) Windows XP SP2 ベースのマルチコア コンピューターでアプリケーションを終了すると、アクセス違反が発生する  この更新プログラムをインストールして、終了時に言語バーがあるウィンドウがクラッシュする問題を解決します。この問題は、Input Method Editor を有効に設定した Windows XP Service Pack 2 を実行するマルチコア コンピューターで発生します。 |
| • | 更新プログラム 943302  [943302](http://support.microsoft.com/kb/943302/) (http://support.microsoft.com/kb/943302/) 2007 年 12 月 Windows Vista アプリケーション互換性更新プログラム  この更新プログラムをインストールすると、Windows Vista での一連のアプリケーション互換性の問題が解決されます。 |
| • | 更新プログラム 956586  [956586](http://support.microsoft.com/kb/956586/) (http://support.microsoft.com/kb/956586/) Window Vista ベースのコンピューターに Internet Explorer 8 Beta 2 をインストールする前にインストールする必要があるソフトウェア更新プログラム |
| • | 更新プログラム 937287  [937287](http://support.microsoft.com/kb/937287/) (http://support.microsoft.com/kb/937287/) Windows Vista インストール ソフトウェアの機能に関するソフトウェア更新プログラムについて  この更新プログラムは、Internet Explorer 8 Beta 2 セットアップ プログラムによって自動的にはインストールされません。ただし、x64 ベース バージョンの Windows Vista の場合は必須の更新プログラムです。この更新プログラムをインストールして、すべてのエディションの Windows Vista に今後の更新プログラムが正常にインストールされるようにしてください。 |

Internet Explorer 8 Beta 2 のインストール時に、次のエラー メッセージが表示される場合があります。

**Windows Internet Explorer 8 をインストールするのに必要な 1 つまたは複数の更新プログラムが存在しないため、セットアップは続行できません。デスクトップにある " Internet Explorer のトラブルシューティング" ショートカットをダブルクリックして、個別にインストールしてから Windows Internet Explorer 8 を再インストールしてください。**

この問題に対処するには、Internet Explorer 8 Beta 2 の前提条件として必要な更新プログラムを手動でインストールする必要があります。

[ページのトップへ](http://support.microsoft.com/kb/949787/en-us#top)



**言語サポート**

Windows Internet Explorer 8 のリリース バージョンのローカライズの詳細は、まだ確定していません。  
  
Internet Explorer 8 Beta 2 は、次の言語およびプラットフォームで使用できます。

|  |  |
| --- | --- |
| **言語** | **プラットフォーム** |
| 中国語 (簡体字) | Windows XP x86 Windows Vista x86 Windows Vista x64 Windows Server 2003 x86 Windows Server 2003 x64 |
| 英語 | Windows XP x86 Windows Vista x86 Windows Vista x64 Windows Server 2003 x86 Windows Server 2003 x64 |
| ドイツ語 | Windows XP x86 Windows Vista x86 Windows Vista x64 Windows Server 2003 x86 Windows Server 2003 x64 |
| 日本語 | Windows XP x86 Windows Vista x86 Windows Vista x64 Windows Server 2003 x86 Windows Server 2003 x64 |
| 中国語 (香港) | Windows XP x86 Windows Vista x86 |
| アラビア語 | Windows XP x86 Windows Vista x86 |
| 中国語 (繁体字) | Windows XP x86 Windows Vista x86 |
| チェコ語 | Windows XP x86 Windows Vista x86 |
| デンマーク語 | Windows XP x86 Windows Vista x86 |
| オランダ語 | Windows XP x86 Windows Vista x86 |
| フィンランド語 | Windows XP x86 Windows Vista x86 |
| フランス語 | Windows XP x86 Windows Vista x86 |
| ギリシャ語 | Windows XP x86 Windows Vista x86 |
| ヘブライ語 | Windows XP x86 Windows Vista x86 |
| ハンガリー語 | Windows XP x86 Windows Vista x86 |
| イタリア語 | Windows XP x86 Windows Vista x86 |
| 韓国語 | Windows XP x86 Windows Vista x86 |
| ノルウェー語 | Windows XP x86 Windows Vista x86 |
| ポーランド語 | Windows XP x86 Windows Vista x86 |
| ポルトガル語 (ポルトガル) | Windows XP x86 Windows Vista x86 |
| ポルトガル語 (ブラジル) | Windows XP x86 Windows Vista x86 |
| ロシア語 | Windows XP x86 Windows Vista x86 |
| スペイン語 | Windows XP x86 Windows Vista x86 |
| スウェーデン語 | Windows XP x86 Windows Vista x86 |
| トルコ語 | Windows XP x86 Windows Vista x86 |

**ローカライズ版 Internet Explorer 8 Beta 2 のインストール方法**

**Windows Vista、Windows Vista Service Pack 1 (SP1)、または Windows Server 2008**

|  |  |
| --- | --- |
| 1. | Internet Explorer 8 Beta 1 がインストールされている場合はアンインストールします。 |
| 2. | 必ず、Windows Vista のシステム言語と一致する言語バージョンの Internet Explorer をインストールしてください。言語が一致しない場合、Internet Explorer Beta 2 のユーザー インターフェイスは英語で表示されます。 |

**Windows XP Service Pack 2 (SP2) または Windows Server 2003 Service Pack 2 (SP2)**

|  |  |
| --- | --- |
| 1. | 必ず、適正な言語バージョンの Windows を使用してください。または、使用する言語の言語パッケージをインストールしてください。 |
| 2. | 使用言語に対して適切なバージョンの Internet Explorer 8 Beta 2 をインストールします。言語が一致しない場合、Internet Explorer Beta 2 のユーザー インターフェイスは英語で表示されます。 |

[ページのトップへ](http://support.microsoft.com/kb/949787/en-us#top)



**Internet Explorer 8 Beta 2 のアンインストール方法**

Windows Vista で Internet Explorer 8 Beta 2 をアンインストールするには、次の手順を実行します。

|  |  |
| --- | --- |
| 1. | [スタート] ボタン をクリックし、[検索の開始] ボックスに「プログラムと機能」と入力して、[プログラム] 一覧で [プログラムと機能] をクリックします。   管理者パスワードまたは確認を求められたら、パスワードを入力するか [許可する] をクリックします。 |
| 2. | [タスク] ウィンドウで、[インストールされた更新プログラムを表示] をクリックします。 |
| 3. | [Internet Explorer 8 Beta 2]、[アンインストール] の順にクリックします。 |

[現在インストールされている更新プログラム] の一覧に Internet Explorer 8 Beta 2 が表示されない場合は、管理者特権モードのコマンド プロンプトで次のコマンドを実行します。

**FORFILES /P %WINDIR%\servicing\Packages/M Microsoft-Windows-InternetExplorer-8\*.mum /c "cmd /c echo Uninstalling package @fname && start /w pkgmgr /up:@fname /norestart"**

[ページのトップへ](http://support.microsoft.com/kb/949787/en-us#top)



**支援技術**

現在のところ、Internet Explorer 8 Beta 2 は、Job Access With Speech (JAWS)、Window-Eyes、ZoomText などの支援技術アプリケーションのすべてのバージョンとの完全な互換性があるわけではありません。メニューおよび Web コンテンツ読み取り機能が正常に作動しない場合があります。JAWS 9.0.2169 は、Internet Explorer 8 Beta 2 と互換性がある JAWS の最初のバージョンです。  
  
更新プログラムの提供前に支援技術プログラムが正常に実行されるようにするには、Internet Explorer 8 Beta 2 のインストール時に、次の手順を実行してください。  
  
**警告 :** この対応策を使用すると、悪意のあるユーザーや、ウイルスなどの悪意のあるソフトウェアによる攻撃に対してコンピューターまたはネットワークが脆弱になる可能性があります。この対応策は推奨されるものではありませんが、各自の責任による実装を可能にするためこの情報を提供します。この対応策は、お客様ご自身の責任において使用してください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 1. | Windows Vista または Windows Server 2008 を使用している場合は、保護モードを無効にします。これには、次の手順を使用します。   |  |  | | --- | --- | | a. | [ツール] メニューの [インターネット オプション] をクリックします。 | | b. | [セキュリティ] タブで、次のゾーンについて [保護モードを有効にする] をクリックしてオフにします。   |  |  | | --- | --- | | • | インターネット | | • | ローカル イントラネット | | • | 信頼済みサイト | | • | 制限付きサイト | |   保護モードの無効時は、信頼する Web サイトのみを閲覧するように強くお勧めします。 |
| 2. | Internet Explorer 8 Beta 2 をインストールします。 |
| 3. | インストールが完了したら、レジストリを変更します。これには、次の手順を使用します。  **重要 :** このセクション、方法、タスクには、レジストリを変更する手順の説明が記載されています。レジストリを不適切に変更すると、重大な問題が発生するおそれがあります。このため、次の手順は慎重に実行してください。保護を強化するには、変更前にレジストリをバックアップしてください。バックアップがあると、問題発生時に復元が可能になります。レジストリのバックアップおよび復元の詳細については、次の記事番号をクリックして、マイクロソフト サポート技術情報の記事を参照してください。  [322756](http://support.microsoft.com/kb/322756/) (http://support.microsoft.com/kb/322756/) Windows でレジストリをバックアップおよび復元する方法   |  |  | | --- | --- | | a. | [スタート] ボタン、[ファイル名を指定して実行] の順にクリックし、[名前] ボックスに「regedit」と入力して、[OK] をクリックします。 | | b. | 次のレジストリ サブキーを探し、クリックします。  **HKEY\_CURRENT\_USER\SOFTWARE\Microsoft\Internet Explorer\Main** | | c. | [編集] メニューで、[新規] をポイントし、[DWORD 値] をクリックします。 | | d. | 「PPT」と入力し、Enter キーを押します。 | | e. | [編集] メニューで、[新規] をポイントし、[DWORD 値] をクリックします。 | | f. | 「LCIE\_FTW」と入力し、Enter キーを押します。 | | g. | [編集] メニューで、[修正] をクリックします。  **注 :** 手順 3c ～ 3g を実行すると、これらのレジストリ エントリの値が "0" に構成されます。 | |
| 4. | Internet Explorer 8 Beta 2 を開始します。  初回起動時に構成情報に関するプロンプトが表示されます。 |
| 5. | 保護モードを再有効化します。 |

**注 :** Internet Explorer 8 Beta 2 をアンインストールすると、システムは以前のバージョンの Internet Explorer に戻り、支援技術プログラムも以前と同様に実行されます。

[ページのトップへ](http://support.microsoft.com/kb/949787/en-us#top)



**Internet Explorer 8 Beta 2 で JScript デバッガーを使用する方法**

JScript デバッガーを使用する場合は、次の事項に注意してください。

|  |  |
| --- | --- |
| • | 複数のタブが開いている場合は、JScript デバッガーの使用は推奨されません。デバッガーが開始されると、Internet Explorer インスタンスで開いているすべてのタブにアタッチされます。このような状態では、ブラウザーの応答が停止する場合があります。この問題に対処するには、デバッグ時、Internet Explorer インスタンスごとに 1 つだけタブを使用するようにします。 |
| • | ブレークポイントでは、Internet Explorer が一時停止し、スクリプト デバッガーからの入力を待ちます。このため、ユーザーの操作には応答しません。Internet Explorer ウィンドウは更新されず、HTML や CSS タブなどの開発者ツール機能も機能しません。この状態は、ツールが Internet Explorer から受け取るデータに依存するために発生します。 |
| • | 状況によっては、デバッガーで次に実行するステートメントが正しく強調表示されない場合があります。 |
| • | 関数式に設定されたブレークポイントが正しく削除されません (関数式は、変数に割り当てられた関数です)。 |
| • | 同一サイトのブレークポイントで、[デバッグの停止] をクリックしてから [デバッグ開始] をクリックすると、Internet Explorer が応答しなくなります。また、次のエラー メッセージが表示されます。  **現在の場所のソース コードを表示できません。** |
| • | ページが完全に読み込まれる前に、ブレークポイントのヒットで [デバッグの停止] をクリックすると、何も起こりません。デバッグを停止するには、[続行]、[デバッグの停止] の順にクリックします。 |
| • | [デバッグ開始] をクリックすると、JavaScript エラーによって、引き続きエラーのダイアログ ボックスが表示されます。この現象は、[デバッグの停止] をクリックしても発生します。この状況は、スクリプトのデバッグを制御するインターネット コントロール パネルの設定とは無関係に発生します。このダイアログ ボックスが表示されないようにするには、Internet Explorer を閉じてから開き直します。 |
| • | [ローカル] および [ウォッチ] ウィンドウには、オブジェクトに追加された expando は表示されません。 |

[ページのトップへ](http://support.microsoft.com/kb/949787/en-us#top)



**Internet Explorer 8 Beta 2 でプロファイラーを使用する方法**

プロファイラーを使用する場合は、次の事項に注意してください。

|  |  |
| --- | --- |
| • | マルチフレームの HTML ページで [プロファイリングの開始] をクリックすると、最上位レベルのフレームのみがプロファイル モードになります。この問題に対処するには、プロファイリングの開始後にページを更新します。 |
| • | プロファイリングで URL および行番号情報を表示するには、スクリプトのデバッグを有効にする必要があります。スクリプトのデバッグが有効化されていなくても、プロファイリングは機能します。ただし、プロファイリング レポートに URL および行番号情報は表示されません。 |
| • | プロファイラー レポートをエクスポートすると、レポートの関数ビューのみがエクスポートされます。使用可能な列はすべて、既定の順序でエクスポートされます。この現象は、レポートの現在のビューが別のビューに設定されている場合に発生します。 |
| • | プロファイラー レポートの行をダブルクリックすると、[スクリプト] タブで URL が使用できる場合にのみ、対応する関数のソース コードが [スクリプト] タブに表示されます。 |
| • | プロファイラーの呼び出しツリー ビューで、複数の行は選択できません。 |

[ページのトップへ](http://support.microsoft.com/kb/949787/en-us#top)



**Internet Explorer 8 Beta 2 で開発者ツールを使用する方法**

開発者ツールを使用する場合は、次の事項に注意してください。

|  |  |
| --- | --- |
| • | ツールの固定または固定の解除の実行後は、開発者ツールを使用してサイトに加えた変更が、開発者ツールのユーザー インターフェイスに反映されません。変更はまだ Internet Explorer 内に存在し、ページの表示は変わりません。ツールでは変更内容が反映されません。  たとえば、CSS プロパティを無効にしてからツールの固定または固定の解除を行うと、プロパティは無効のままです。ただし、このプロパティは、開発者ツールのユーザー インターフェイスには表示されません。 |
| • | ブレークポイント内で、スクリプト デバッガー外のアクションを実行しようとすると、Internet Explorer は応答を停止します。たとえば、ローカルおよびコール スタック機能は動作します。ただし、ドキュメント モードを変更すると、Internet Explorer の応答が停止します。 |
| • | 開発者ツールでは、スタイル アプリケーションに対して標準準拠のルールが使用されます。このロジックは、Internet Explorer 8 標準モードで使用されるロジックと一致します。Quirk モードおよび Internet Explorer 7 標準モードでは、このロジックによってツールからレポートされる情報が不正確になる場合があります。 |
| • | "重要" のマークがあるスタイル プロパティは、有効化および無効化ができません。 |
| • | ツールが固定されているときにスクリプトのデバッグを開始すると、スクリプト デバッガーおよび Internet Explorer が応答しなくなる場合があります。頻繁にスクリプトをデバッグする場合は、ツールを別のウィンドウに置くようにお勧めします。これは、スクリプトのデバッグ時にはツールの固定解除が必要なためです。 |
| • | [HTML] タブ以外のタブで [クリックで要素を選択] を使用すると、HTML ツリーで適切なノードが自動的に選択されます。ただし、[HTML] タブは開きません。現在のビューから切り替えるには、[HTML] タブをクリックする必要があります。 |
| • | [スタイル] ウィンドウおよび [トレース スタイル] ウィンドウには、すべての要素のインライン スタイルの一部として、次のプロパティが一覧表示されます。   |  |  | | --- | --- | | • | **pixelheight** | | • | **pixelleft** | | • | **pixeltop** | | • | **pixelwidth** |   この現象は、作成者がこれらのプロパティをインライン スタイルとして指定していない場合も発生します。この問題は、開発者ツールのエラーが原因で発生します。Internet Explorer 8 Beta 2 でのページの表示方法には影響しません。 |
| • | Internet Explorer でスクリプトのデバッグを有効にする前にスクリプトのデバッグを開始すると、次のエラー メッセージが表示されます。  **プロセスにアタッチできません。別のデバッガーがプロセスにアタッチされている可能性があります。**  この問題に対処するには、[OK] をクリックしてから [デバッグ開始] を再度クリックします。 |

[ページのトップへ](http://support.microsoft.com/kb/949787/en-us#top)



**開発者向けの既知の問題**

**AJAX ナビゲーション**

Internet Explorer 8 Beta 2 では、設定されている **window.location.hash** のインスタンスごとに、トラベル ログおよび [戻る] ボタンにエントリが作成されます。これは、Internet Explorer 8 の AJAX ナビゲーションの動作の一部です。この技法をドキュメント間の通信に使用する場合は、HTML 5.0 仕様のセクション 6.4 に準拠している Internet Explorer 8 クロス ドキュメント メッセージング機能に切り替えることをお勧めします。  
  
HTML 5.0 仕様の詳細については、次の World Wide Web Consortium の Web サイトにアクセスしてください。

<http://www.w3.org/html/wg/html5/#crossDocumentMessages> (http://www.w3.org/html/wg/html5/#crossDocumentMessages)

**XDomainRequest**

**onload** イベントの発生は、信頼できない場合があります。**onprogress** イベントを使用することをお勧めします。これらのイベントは、引き続き、データの受信時に発生します。